

新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部
(新型インフルエンザ等対策本部)
知事メッセージ

令和3年6月9日
青森県危機対策本部

新型コロナウイルス感染症に係る対応について

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策に係る予算について、来る6月14日に開会されます県議会第306回定例会に、令和3年度6月補正予算案として124億円余の感染症対策関連経費を提案します。

今回の補正予算は、青森県における新型コロナウイルス感染症の発生状況等を踏まえ、感染防止対策の推進と医療提供体制の確保に取り組むとともに、感染拡大の影響を受ける事業者等を支援するのに要する経費について、所要の予算措置を講ずることとしたものであります。

具体的には、

- 検査体制や積極的疫学調査のための保健所機能の強化
- ワクチンの集団接種に係る医療従事者の派遣や個別接種に係る医療機関の体制強化等に対する支援
- 生活困窮世帯や低所得のひとり親世帯に対する支援
- 厳しい経営状況の中で事業継続に取り組む中小企業者等に対する支援
- 宿泊施設における感染防止対策に対する支援と県民向けの県内旅行誘客促進キャンペーンの実施

などに取り組んでいくこととしています。

次に、先般、補正予算の専決処分を行った「あおもり飲食店感染防止対策認証制度」についてですが、認証取得や、関連する設備等整備に対する補助金に係る申込の受付を、本日、6月9日から開始いたします。

詳しくは、県庁ホームページ等で御確認ください。

新型コロナウイルス感染症に対しては、様々な対策を講じてきたところですが、今般の補正予算の取組も加えまして、県民の命を守るためにしっかりと感染拡大を抑え込み、ワクチン接種体制を強化し、そして、県民生活を支え、地域経済の回復を図ることに総力を挙げていく考えであります。

さて、最近の感染状況は、依然として新規感染者が継続して確認され、新たなクラスターも発生しており、予断を許さない状況が続いていますが、新規感染者数は一時期より落ち着きを見せてきました。

県民の皆様方の御協力が形として現れてきているものと感じており、心から感謝いたします。本当にありがとうございます。

その一方で、県内でもN501Yの変異を有する変異株の発生割合が増加していることに注意が必要です。この変異株は、一般的には感染力が強く、重症化しやすいと言われており、感染者との短時間の接触でも感染している事例も見受けられます。

現在、感染拡大を抑えるために「みんなで静かに過ごしましょう」と呼びかけているところであり、繰り返しになりますが、県民の皆様方に改めてのお願いです。

新規感染者数が減ってきたとしても油断せずに、引き続き基本的な感染防止対策を継続してください。変異株であっても感染防止対策は同じですので、マスクを適切に着用し、人との距離を保ち、こまめに手洗い・手指消毒を行うことを徹底しましょう。

また、「普段一緒にいる人」とは、家庭や職場、学校等で毎日のように生活や仕事などの行動を一緒にしている人で、それ以外の人との接触はできるだけ避けましょう。

たとえ親戚や友人、近所の人であっても、毎日のように一緒に行動していない人との会食・会合等は控えてください。

また、感染リスクが高い場所への外出・移動は避けましょう。

そして、毎日検温し、風邪症状などがみられる時は出勤・登校・外出をせず、他人との接触を極力避けてください。

事業所や施設等では、ひとたびクラスターが発生すれば、濃厚接触者を含めて多くの職員が出勤できなくなり、関係する事業活動が数週間以上停滞するおそれがあります。風邪症状などがみられる時に「休みを取る・取らせる」ことを徹底してください。

ここが感染拡大を抑え込むための踏ん張りどころです。

「感染拡大を防ぐ」「医療提供体制を保つ」「みんなの命を守る」、そのために、皆様お一人お一人がお互いを守り合う気持ちで、引き続き、御理解と御協力をお願い申し上げます。